

9月20日（金）午前【A会場】

G7 素過程を対象とした地球化学

コンビーナ：柏原輝彦（JAMSTEC）・古川善博（東北大）・丹秀也（JAMSTEC）・遠藤美朗（東工大）・伊左治雄太（JAMSTEC）・鍵裕之（東大）・高橋嘉夫（東大）

8:45 PR0156 <基調講演>

同位体から紐解く生物の炭酸塩形成における素過程：環境変動への生物応答の理解に向けて
○西田梢（東工大）

9:15 PR0042

n-ブチルアミンを添加した非晶質炭酸カルシウムからのアラゴナイトの高湿度条件での選択的結晶化
○鍵裕之（東大）・村岡賢佑（東大）

09:30 PR0021

比較メタゲノム解析により明らかにする鉄温泉の微生物系統・機能遺伝子の特徴
○塚本雄也（理研）・大熊盛也（理研）・吉澤晋（東大）

9:45 PR0116

ランタノイドLIII吸収端XANESスペクトルの半値全幅（FWHM）を用いた化学形態分析の可能性
○太田充恒（AIST）・田中万也（JAEA）

10:00 PR0086 <学生発表賞エントリー>

河川-湖沼-海洋系におけるルビジウム安定同位体分別
○小長谷莉未（東大）・平山剛大（東大）・伊地知雄太（東大）・坪井寛行（東大）・板井啓明（東大）・高橋嘉夫（東大）

10:15-10:30 <休憩>

G9 地球化学の最先端計測法の開発と挑戦

コンビーナ：平田岳史（東大）・横山哲也（東工大）・若木重行（歴博）・大野剛（学習院大）・坂本直哉（北大）・福山繭子（秋田大）・伊藤健吾（東大）

10:30 PR0070 <基調講演>

リン酸三酸素同位体組成の超高精度測定：海棲脊椎動物の生理生態学研究への応用
○三歩一孝（名大）・角皆潤（名大）・中川書子（名大）

11:00 PR0006 <学生発表賞エントリー>

ラマン質量法を用いたカルサイトの¹⁷Oの検出と精度
○井上裕貴（九大）・荒川雅（九大）・白井厚太郎（東大）・山本順司（九大）

11:15 PR0188 <学生発表賞エントリー>

MCP/FS/qCMOS 二次元イオン検出システムを用いた同位体イメージング手法の開発と誤差評価
○吉元史（京大）・岡野真理（京大）・伊藤正一（京大）

11:30 PR0267 <学生発表賞エントリー>

ESI-Orbitrap 質量分析法による多環芳香族炭化水素の同位体分子計測
○金範植（東工大）・上野雄一郎（東工大）

11:45 PR0030

レーザーアブレーションデュアル質量分析法を用いた金属元素と有機分子の同時イメージング分析
○平田岳史（東大）・趙馨雅（東大）・韓子欣（東大）・鈴木敏弘（東大）・松岡友樹（東大）・クーフィシン（株式会社バイオクロマト）・松川岳久（順天堂大）

12:00 PR0089

CSIDRS: developing a community software for
stable isotope data reduction from the CAMECA
LG SIMS

○Ruby Marsden (Univ. Western Australia・金沢
大)・Laure Martin (Univ. Western Australia)・
Matvei Aleshin (Univ. Western Australia)・Paul
Guagliardo (Univ. Western Australia)

12:15 PR0257

ストロンチウム同位体を用いた漆の原産地推定を
正確に行うための分析・解析手法の開発

○若木重行(歴博)・岡田文男(京都芸術大)・南雅
代(名大)・大谷育恵(京大)・高畠考宗(オホー
ツクミュージアムえさし)・谷口陽子(筑波大)

12:30-14:30 <休憩・ポスターコアタイム>

9月20日（金）午後【A会場】

G9 地球化学の最先端計測法の開発と挑戦

コンビーナ：平田岳史（東大）・横山哲也（東工大）・
若木重行（歴博）・大野剛（学習院大）・坂本直哉
（北大）・福山繭子（秋田大）・伊藤健吾（東大）

14:30 PR0016 <招待講演>

ライフサイエンスと考古学をつなぐ先端技術～パ
レオゲノミクスのその先へ～
○覚張隆史（金沢大）

15:00 PR0204

機械学習による金属トレーサビリティのための微
量元素およびREE パターン認識と次元圧縮による
類型化
○加藤湧也（東北大）・土屋範芳（東北大・八戸
工業高専）・Diana Mindaleva（東北大）・松野
哲士（東北大）

15:15 PR0216

走査型 X 線顕微鏡と結像型 X 線顕微鏡の相補的
利用による大面積隕石超薄切片の多元素 XANES
○小玉泰聖（広大）・薮田ひかる（広大）・
Vitale Suzy（カーネギー研究所）・菅大暉
（JASRI/SPRING-8）・山下翔平（KEK）・高橋嘉
夫（東大）・為則雄祐（東大）

15:30 PR0106

環境水中ロジウム定量分析法の開発
○西蒼生（金沢大）・眞塩麻彩実（金沢大）・黄
国宏（金沢大）・長谷川浩（金沢大）

15:45-16:00 <休憩>

16:00 PR0019

ガウス過程回帰を用いた SIMS 測定におけるマト
リックス効果の評価
○板野敬太（秋田大）

16:15 PR0170

阿蘇市上米塚産スコリア普通輝石斑晶の Fe の軟
X 線自己吸収構造 (SX-SAS) 分析
○横山隆臣（JEOL）・村野孝訓（JEOL）・山崎陽
生（信州大・AIST）・昆慶明（AIST）

16:30 PR0112

感度増強型 LA-ICP-MS による炭酸塩試料の U-Th
放射非平衡年代測定
○仁木創太（名大）・宮嶋佑典（AIST）・平田岳
史（東大）

16:45 PR0186

初期地球の化学進化解明に向けた冥王代ジルコン
の探索
○金子沙椰（学習院大）・島田愛斗（学習院大）・
高橋真里花（学習院大）・山本伸次（横国大）・
大野剛（学習院大）・深海雄介（学習院大）

17:00 PR0261

ICP-MS/MS を用いた海水及び海藻中の $^{236}\text{U}/^{238}\text{U}$ 分
析法の開発と ^{233}U 分析への応用
○柴裕太郎（学習院大）・上田修裕（学習院大）・
深海雄介（学習院大）・大野剛（学習院大）

15:15 PR0210

新たな後期白亜紀ジルコン二次標準試料 ; SoriZ
ジルコン
○福山繭子（秋田大）・Marion Tichomirowa
（Freiberg Univ. of Mining and
Technology）・Alexandra Käbner（Freiberg
Univ. of Mining and Technology）・小笠原正継
（Zipang Geoscience Laboratory）

17:30-18:00 <閉会式>

9月20日（金）午前【B会場】

G3 海洋の地球化学

コンビーナ：白井厚太郎（東大）・堀川恵司（富山大）・眞塩麻彩実（金沢大）・小畑元（東大）

08:45 PR0088 <学生発表賞エントリー>

水環境における有機態粒子の粒径別酸素消費速度（呼吸速度）定量

○渡邊悠斗（名大）・角皆潤（名大）・中川書子（名大）・伊藤昌稚（名大）・山口保彦（琵琶湖環境科学研究センター）

9:00 PR0025

喜界島沖・種子島沖・日向灘海底泥火山群からの溶存有機態炭素の放出

○吉崎結衣（神戸大）・星野辰彦（JAMSTEC）・松井洋平（JAMSTEC）・川口慎介（JAMSTEC）・竹内誠（東大）・岡村慶（高知大）・野口拓郎（高知大）・乙坂重嘉（東大）・井尻暁（神戸大）

9:30 PR00052

海洋開発事業の環境影響ベースライン調査としての高い時空間分解能での海洋観測の試み

○川口慎介（JAMSTEC）

9:45 PR0010

日本周辺の海水安定同位体組成の時空間分布：広域データセットの構築と公開について

児玉武稔（東大）・北島聡（水産研究・教育機構）・高橋素光（水産研究・教育機構）・○石村豊穂（京大）

10:00 PR0276 <基調講演>

陸-海結合システムの解析

○長尾誠也（金沢大）

10:30 PR0131 <学生発表賞エントリー>

L-システイン溶液を用いた表面洗浄による養殖昆布中総水銀の取り込み機構の把握

○野津亜莉紗（関西学院大）・坂野錬人（関西学院大）・石橋歩果（関西学院大）・谷水雅治（関西学院大）

10:45 PR0005

ダブルスパイク法を用いた高感度分析による海洋動物プランクトン鉄安定同位体比の種多様性

○長谷川菜々子（北大・東大）・栗栖美菜子（東大）・高橋一生（東大）・児玉武稔（東大）・平山耕太郎（東大）・高橋嘉夫（東大）・板井啓明（東大）

11:00-11:15 <休憩>

G5 古気候・古環境解析

コンビーナ：堀川恵司（富山大）・長島佳菜

（JAMSTEC）・窪田薫（JAMSTEC）・梶田展人（弘前大）・西田梢（東工大）・浅原良浩（名大）・堀真子（大教大）・黒田潤一郎（東大）・丸岡照幸（筑波大）

11:15 PR0120 <招待講演>

宇宙線生成核種を用いた過去の太陽面爆発の探索

○三宅美沙（名大）

11:45 PR0282 <学生発表賞エントリー>

個別個体の浮遊性有孔虫殻 Mg/Ca 水温分析による過去 20000 年間の黒潮大蛇行の発生頻度解析

○藤見唯衣（富山大）・堀川恵司（富山大）・池原実（高知大）・岡崎裕典（九大）・久保田好美（科博）・小林英貴（富山大）

12:00 PR0029

木場潟堆積物のハロゲン元素(Br)を指標とした日本海沿岸における完新世の海水準変動復元

○木田福香(JAEA)・落合伸也(金沢大)・渡邊隆広(JAEA)・松中哲也(金沢大)・橋野虎太郎(金沢大)・山崎慎一(東北大)・山岸裕幸(東北大)・土屋範芳(東北大・八戸工業高専)・奈良郁子(JAEA・金沢大)

12:15-14:30 <休憩・ポスターコアタイム>

9月20日（金）午後【B会場】

G5 古気候・古環境解析

コンビーナ：堀川恵司（富山大）・長島佳菜（JAMSTEC）・窪田薫（JAMSTEC）・梶田展人（弘前大）・西田梢（東工大）・浅原良浩（名大）・堀真子（大教大）・黒田潤一郎（東大）・丸岡照幸（筑波大）

14:30 PR0023 <基調講演>

鍾乳石流体包有物が明らかにする鬼界カルデラを含む火山噴火による中期完新世の数十年規模気候変動

○植村立（名大）・Syed Azharuddin（名大）・大嶺佳菜子（琉球大）・眞坂昂佑（琉球大）・浅海竜司（東北大）・Mahjoor Lone（国立台湾大）・Yu-Chen Chou（国立台湾大）・Chuan-Chou Shen（国立台湾大）

15:00 PR0014

アメリカ合衆国に分布する K-Pg 境界層のイリジウムと他元素の濃度

○佐野貴司（科博）・石本光憲（東大）・佐藤峰南（九大）・石川晃（東工大）

15:15 PR0017

白亜紀末隕石衝突直後の環境変動：硫黄同位体組成からの制約

藤枝菜央（筑波大）・○丸岡照幸（筑波大）・西尾嘉朗（高知大）

15:30 PR0173

還元条件下における硫黄質量非依存性のチャンバー光化学実験のモデル研究

○冬月世馬（上智大）・Thi Ngoc Trieu Tran（上智大）

15:45 PR0149

A Model Study of Formaldehyde formation Under Reducing Conditions

○THI NGOC TRIEU TRAN（Sophia Univ.）・SEBA FUYUTSUKI（Sophia Univ.）

16:00-16:15 <休憩>

16:15 PR0236

千葉複合セクションに記録された葉ワックス水素同位体比分析による地磁気逆転前後の水循環変化

○梶田展人（弘前大・極地研・JAMSTEC・AIST）

関幸（北大）・山本正伸（北大）・大河内直彦

（JAMSTEC）・岡田誠（茨城大）・羽田裕貴

（AIST）・菅沼悠介（極地研）

16:30 PR0113

グリーンランド SE-DomeII コアの酸素同位体比に基づく数か月分解能の高精度年代

○浜本佐彩（名大）・川上薫（北大）・捧葉優

（北大）・松本真依（北大）・Hayoung Bong（東大）・芳村圭（東大）・岡崎淳史（千葉大）・的場澄人（北大）・飯塚芳徳（北大）・植村立（名大）

16:45 PR0178

個別石英粒子のカソードルミネッセンス分析：海水および雪氷コアへの応用

○長島佳菜（JAMSTEC）・東久美子（極地研）・伊藤彰記（JAMSTEC）

17:00 PR0082 <基調講演>

環境変動に年代値を入れる：解説と新規手法の模索

○長谷部徳子（金沢大）

9月20日（金）午前【C会場】

G1 大気とその境界面における地球化学

コンビーナ：岩本 洋子（広島大）・谷本浩志（環境研）・中川書子（名大）・宮崎雄三（北大）・伊藤彰記（JAMSTEC）・大森裕子（筑波大）・栗栖美菜子（東京大）

9:00 PR0066 <招待講演>

能登半島珠洲における窒素酸化物種等越境大気汚染物質の長期連続観測

○定永靖宗（大阪公立大）・松木篤（金沢大）

9:30 PR0087

融雪期の立山における表層雪中の化学成分の特徴
○渡辺幸一（富山県立大）・樋掛辰真（富山県立大）・中西彩水（富山県立大）・中澤暦（富山県立大）・酒徳昭宏（富山大）・田中大祐（富山大）

9:45 PR0003 <招待講演>

大気・海洋を循環させるバイオエアロゾル

○牧輝弥（近畿大）

10:15 PR0183

冷温帯林におけるエアロゾル粒径分布と植物葉の化学分析に基づく大気エアロゾル中の脂肪族第二級アルコールの起源

○崔羽皓（北大）・宮崎雄三（北大）

10:30 PR0232

「みらい」での大気観測データに基づいた大気化学輸送モデル「IMPACT」による氷晶核の海洋と陸域エアロゾルの寄与評価

○伊藤彰記（JAMSTEC）・川名華織（スイス連邦工科大学ローザンヌ校）・當房豊（極地研）・宮川拓真（JAMSTEC）・竹谷文一（JAMSTEC）・松本和彦（JAMSTEC）・金谷有剛（JAMSTEC）

10:45-11:00 <休憩>

G2 環境地球化学・放射化学

コンビーナ：板井啓明（東大）・山口瑛子（JAEA）・田中万也（JAEA）・坂口綾（筑波大）・淵田茂司（東京海洋大）・宮川和也（JAEA）

11:00 PR0115 <招待講演>

Filling the Gap of Mercury Isotopic Composition in the Ocean
○Jiubin Chen（Tianjin Univ.）

11:30 PR0045

Fe(II)-catalyzed ferrihydrite transformation process: Effect of model organic ligands
○Yuefei Ding（Peking Univ.）・J. Liu（Peking Univ.）

11:45 PR0128

ノントロナイト構造中Feの酸化状態のEh-pH条件依存性

○森井志織（JAEA）・蓬田匠（JAEA・東大）・中田正美（JAEA）・岡壽崇（JAEA）・北辻章浩（JAEA）・高橋嘉夫（東大）

12:00-14:30 <休憩・ポスターコアタイム>

9月20日（金）午後【C会場】

G2 環境地球化学・放射化学

コンピーナ：板井啓明（東大）・山口瑛子（JAEA）・田中万也（JAEA）・坂口綾（筑波大）・淵田茂司（東京海洋大）・宮川和也（JAEA）

14:30 PR0055 <基調講演>

高濃度放射性セシウム含有微粒子が示すメルトダウン現象

○宇都宮聡（九大）

15:00 PR0081

赤城大沼の冬季成層化における放射性セシウムの濃度変動

○大鳥慎治（金沢大）・藤田知樹（金沢大）・阿久津崇（群馬水試）・塩澤佳奈子（群馬水試）・鈴木究真（群馬水試）・杉本亮（福井県立大）・長尾誠也（金沢大）

15:15 PR0228

国内ダム湖堆積物におけるリン酸保持容量

○古荘皓基（東大）・板井啓明（東大）

15:30 PR0211

富栄養湖沼手賀沼が大気に二酸化炭素を放出できる訳

○時枝隆之（気象大学校）・木持謙（埼玉県環境科学国際センター）・牧野隆平（気象大学校）・関根希一（気象大学校）

15:45 PR0139

東日本に分布する26河川の溶存態水銀濃度とその変動要因

○周藤俊雄（東大）・佐藤佑磨（東大）・平山耕太郎（東大）・大音周平（東大）・古荘皓基（東大）・丸本幸治（国立水俣病総合研究センター）・板井啓明（東大）

16:00-15:15 <休憩>

16:15 PR0284 <招待講演>

PFASによる水環境汚染と工学的ソリューション

○原宏江（金沢大）

16:45 PR0004

坑廃水処理におけるマンガン沈殿除去の地球化学

○淵田茂司（東京海洋大）・加藤聖也（東京海洋大）・所千晴（早稲田大・東大）

17:00 PR0227

生物性Mn(IV)酸化物への微量元素及び放射性核種吸着

○田中万也（JAEA）

17:15 PR0145

鉄鉱物の化学状態の変化に伴う人形峠センター（旧ウラン鉱床）堆積環境でのヒ素の移行素過程の解明

○徳永紘平（JAEA）・高橋嘉夫（東大）・香西直文（JAEA）

9月20日（金）午前【D会場】

S2 地球掘削かがく

コンビーナ：佐川拓也（金沢大）・森下知晃（金沢大）・石野咲子（金沢大）・臼井洋一（金沢大）

9:00 PR0008 <招待講演>

南極ドームふじにおける最古級の深層氷床コア掘削とドームふじコアの気体分析に関する最新の研究成果

○大藪幾美（極地研・総研大）・川村賢二（極地研・総研大・JAMSTEC）・北村享太郎（極地研）・第3期ドームふじ観測計画推進委員会

9:30 PR0208 <基調講演>

堆積物化学組成を基にしたサンプリングパーティーの試み ～日本海 ReCoRD プロジェクトの例～
○関有沙（信州大）・多田隆治（千葉工大）・入野智久（北大）・松崎賢史（東大）・吉岡純平（AIST）

10:00 PR0279

過去80万年間にわたる日本海南部への対馬暖流流入量変化の復元
○佐川拓也（金沢大）

10:15-10:30 <休憩>

10:30 PR0209 <招待講演>

国際深海科学掘削計画：地震発生帯掘削の総括と新プログラム IODP3
○木下正高（東大・J-DESC）・島伸和（神戸大・J-DESC）・益田晴恵（大阪公立大・J-DESC）・江口暢久（JAMSTEC）・斎藤実篤（JAMSTEC）

11:00 PR0192 <基調講演>

西之島はどのようなマグマを生み出し発達してきたのか かいめいBMSを用いた海洋火山の掘削へ向けて

○吉田健太（JAMSTEC）

11:30 PR0031

国際大陸掘削計画による南アフリカ・バーバートン緑色岩帯 Moodies 層群の掘削：シアノバクテリアの発生時期に対する制約

○掛川武（東北大）

11:45 PR0215

背弧海盆マントルの化学的特徴：IODP Exp. 402で採取した地中海ティレニア海盆カンラン岩の例

○秋澤紀克（東大）・Emily Cunningham (Utah U.)・Alessio Sanfilippo (Pavia U.)・Tomoaki Morishita (Kanazawa U.)・Ashutosh Pandey (IISER TVM)・Eirini M. Poulaki (Washington U.)・Manon Bickert (Brest U.)・Vannucchi Paola (U. Florence)・Chao Lei (China U. Geosci.)・Swanne B. L. Gontharet (Sorbonne U.)・Nevio Zitellini (CNR-ISMAR)・Alberto Malinverno (Columbia U.)・Emily R. Estes (Texas A&M U.)・Noriaki Abe (JAEA)・Agata Di Stefano (U. Catania)・Irina Y. Filina (U. Nebraska)・Qi Fu (U. Houston)・Lorna E. Kearns (U. Texas at Austin)・Ravi Kiran Koorapati (Binghamton U.)・Luca Magri (U. Tasmania)・Walter Menapace (U. Bremen)・Victoria L. Pavlovics (U. Utah)・Philippe A. Pezard (Montpellier U.)・Milena A. Rodriguez-Pilco (Texas A&M U. at Galveston)・Brandon Shuck (Columbia U.)・Xiangyu Zhao (Shanghai Jiao Tong U.)

12:00-14:30 <休憩・ポスターコアタイム>

9月20日(金)午後【D会場】

G8 地球深部から表層にわたる元素移動と地球の化学進化

コンビーナ：小木曾哲（京都大学）・飯塚理子（早稲田大学）・土岐知弘（琉球大学）・森下知晃（金沢大学）・森田雅明（東京大学）・山本順司（九州大学）

14:30 PR0214 <基調講演>

キンバーライトのタングステン同位体組成からみる地球内部構造

○中西奈央（早稲田大）

15:00 PR0274

強親鉄性元素含有量から探る太古代後期のマントル進化

○佐藤隆（東工大）・石川晃（東工大）・横山哲也（東工大）・上野雄一（東工大）・秋澤 紀克（東大）・Marco Fiorentini (University of Western Australia)・Nicolas Thébaud (University of Western Australia)

15:15 PR0268

Mass dependent and independent Mo isotopic composition of the mafic rocks of Acasta Complex

○Gautam Ikshu（東工大）・T. Yokoyama（東工大）・A. Ishikawa（東工大）・T. Tamura（東工大）・T. Komiya（東大）

15:30 PR0161

液体鉄-ケイ酸塩メルト間における強親鉄元素の分配：高温高圧実験による分配係数の決定とレイトベニア仮説の再検討

○近藤望（岡山大）・芳野極（岡山大）・浅沼尚（京大）・桑原秀治（愛媛大）

15:45-16:00 <休憩>

16:00 PR0129

下部マントル主要鉱物がFe-FeO buffer 下で酸窒化物化する可能性と“missing” nitrogen への考察

○福山鴻（九大・愛媛大）・鍵裕之（東大）・新名亨（愛媛大）・高畑直人（東大）・入船徹男（愛媛大）

16:15 PR0163

下部マントル条件下でのカリウムに富むホーランドイト相への重い希ガスの取り込み

○飯塚理子（早稲田大）・角野浩史（東大）・高橋嘉夫（東大）

16:30 PR0079

下部マントル最上部条件までのCaSiO₃-H₂O系でのデイブマオアイトのその場格子体積観察

○高市合流（愛媛大）・石井貴之（岡山大）・西原遊（愛媛大）・松影香子（帝京科学大）・肥後祐司（高輝度光科学研究センター）・辻野典秀（高輝度光科学研究センター）・柿澤翔（高輝度光科学研究センター）

16:45 PR0130

アイスランド火成鉱物に含まれるメルト包有物の揮発性物質と水素同位体比

○清水健二（JAMSTEC）・牛久保孝行（JAMSTEC）・羽生毅（JAMSTEC）・栗谷豪（北大）・佐野貴司（科博）・Halldorsson Saemundur（Iceland Univ.）

17:00 PR0101

Pb-Nd 同位体比から推定したリサイクル年代に対するPb質量分別補正の影響

○下田玄（AIST）・小木曾哲（京大）